

# れんごう

## 県央地協

2021. 10. 18  
 2021年度 第5号 通算 248号  
**連合県央地域協議会** (連合県央地協)  
 〒955-0044 三条市南四日町 1-15-8  
 三条市勤労青少年ホーム(ソレイユ三条)内  
 TEL 0256-32-6363 FAX 0256-32-6490  
 e-mail: rengousk@fancy.ocn.ne.jp  
 URL: http://rengo-kenoh.net/

## 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉の実現に向けて 2021にいがたワーク&ライフフォーラムin県央が開催

新潟県労働者福祉協議会(労福協)や新潟ろうきん福祉財団などが共催する「2021にいがたワーク&ライフフォーラム in 県央」が9月18日、燕三条地場産センターをメイン会場に開催され、県内各地より連合(労働組合)などの労福協構成団体やNPO団体などから300人を超える参加がありました。

主催者あいさつで、海津実行委員長(県央地区労福協会長・連合県央地協議長)は、「本日のフォーラムは、『福祉はひとつ』の理念のもと誕生した労福協運動に求められる今後の役割と機能発揮について研究・確認する場として開催する。今後も誰ひとり取り残さない社会の実現にむけ、県内各地で暮らす人々の多くの支えとなる運動を推進していきましょう」と参加者へ呼び掛け、この県央地域の自治体を代表し、滝沢三条市長よりあいさつを受けました。

続いて、午前のメインとなる「コロナ過と居場所 子ども食堂の取り組みから」と題した湯浅 誠氏の記念講演。現在、全国子ども食堂支援センター・むすびえの理事長を務める立場から、湯浅さんからは「子ども食堂は多世代交流の場であり、子どもの育ちを応援する場だけでなく、高齢者の健康づくりの場、保護者の方が子育てをホッとできる場にもなっており、食が地域で循環するための出口の一つでフードロス問題の一助にもなっている」との話がありました。さらに「世の中にはこのようなコロナ禍だからこそ、居場所が大事だと思って子ども食堂を立ち上げる人たちがいる。社会の底力はこういうところに表れる。コロナになって私たちは密を避けようとしているが、それ以前は決して密になっていたわけではない。昔は密を作ろうと必死だった。これは絶好の発明だ。地域や社会の持続可能性のため、そういう場所を増やしたい」と声高らかに自身の想いを語られました。



湯浅 誠さんの記念講演



NPOさんじょう主催のセッション  
 ← 連合新潟主催のセッション

午後からは、8団体による9つのセッション(分科会)。職場での問題解決を考える(連合新潟)、SDGsでつながろう(新潟NPO協会)、いのちとこころを支えるゲートキーパー(県央地区労福協主催 現地訪問のセッション(燕コースの燕市産業資料館(左)と三条コースの諏訪田製作所一(NPOさんじょう)、現地訪問 燕・三条コース(県央地区労福協)など参加者はそれぞれの工夫を凝らしたセッションへ参加し、知識や学習を深めました。



そのほか会場ではフードドライブのコーナーを設置し、参加者より食品提供のご協力をいただきました。これまで実施されていたフォーラムを締めくくると交流懇親会は、感染下の状況を鑑み残念ながら行われませんでした。それぞれで参加者相互の交流がはかられ、意義あるイベントとなりました。

## 10月31日投開票 第49回衆議院選挙 4区 菊田・2区 たかくら両候補への支援を 期日前を含め、必ず投票へ行きましょう

10月19日、第49回衆議院選挙が公示され、30日までの12日間の選挙戦が幕を開けました。

連合新潟は県央地域の関係では、7期目の当選をめざす4区 菊田まきこ>さんと新人の<2区 たかくら さかえ>さんの推薦を決定し、両候補の当選にむけ各構成組織や県央地協と連携し、日々取り組みを展開しています。菊田さん、たかくらさんを国政へ送るため、皆さん一人ひとりがご友人・ご親戚などお知り合いの方へ支援の輪を広げてください。そして、期日前を含め必ず投票へ行きましょう。各単組の皆さんからの最後までのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



それぞれの事務所開きであいさつをする4区菊田候補(左)と2区たかくら候補

あなたの一票が未来を変える!

第49回 衆議院選挙  
 しゅうぎいんせんきょ  
 Change the Future

行こう投票 変えよう未来

よくわかる、すぐわかる、衆議院選挙の投票方法

毎日が投票日

投票に行けない方は「期日前投票」  
 投票日に投票に行けない方は前もって投票しましょう。  
 手続きはかんたんです。

理由はなんでもOK!

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
- 旅行などの予定が入っている方
- 入院や出産などでその日に投票に行けない方

投票できる期間 公示日の翌日から投票日の前日まで  
 投票できる時間 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ・繰下げ可  
 投票場所 選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」です  
 詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください

日	月	火	水	木	金	土		
2021年	10月	19	20	21	22	23		
		24	25	26	27	28	29	30

31 投票日 期日前投票が可能 な期間

連合 日本労働組合総連合会



## 県央地協と県央地区労福協

# あわせて40万円の寄付金をフードバンクへ贈呈

連合県央地協と県央地区労福協は、生活に困窮しているひとり親世帯などへの支援に取り組んでいる新潟県フードバンク連絡協議会への寄付を決定し、9月2日、同協議会の小林事務局長へ連合として30万円、労福協として10万円を贈呈しました。



寄付金を贈呈する海津県央地協議長(左)

これはウイルス禍での失業や収入の減少により生活費を事欠き、子どもに食べさせる自信がないと自死など最悪の決断に至る困窮者を救おうと立ち上げられた「米100トン緊急行動」プロジェクトに賛同したものです。

県央地協は現在、労働金庫と連携し、フードドライブの取り組みを各単組へ呼び掛け展開中です。12月までの取り組みとなりますが、お米や缶詰、カップ麺などの賞味期限内の食品に加え、日用品や生活家電の提供も大歓迎です。各単組からの可能な限りのご協力をよろしくお願いいたします。

## 新潟県最低賃金が859円に改定

### 街頭で労働者や市民へ改定額や課題など訴える

9月30日と10月1日の2日間、連合県央地協は10月1日に改定された新潟県最低賃金(831円→**859円**)の改定額などを周知する街宣行動を実施し、地協四役やその選出単組などから参加協力をいただきました。

初日はまず、三条市と燕市を中心に比較的人々が点在する主要道、ショッピングセンターなどを最低賃金等を周知する音声を鳴らしながら街宣。一般市民はもとより、経営者や労働者へむけて工業団地も回りました。

翌日の10月1日にイオン県央店の交差点付近で実施した停止街宣には、海津県央地協議長のほか丸山新潟県最低賃金審議会委員(JAM新潟)からもご参加いただき、同日改定された新潟県最低賃金の改定額についてはもちろんのこと、その決定までの経過やその額の地域格差が人口流出につながっていることなど、それぞれの立場で訴えていただきました。



#### ◆連合県央地協 第31回定期総会

日時 12月4日(土) 14:00~  
会場 燕三条ワシントンホテル3階 芙蓉の間

※ 役員改選の総会ですが、ウイルス禍を鑑み、レセプション(交流懇親会)は行いません。

#### ◆青年女性委員会 第29回総会

日時 12月10日(金) 19:00~  
会場 燕三条地場産センター

リサーチコア6階 研修室①②

※ 交流懇親会は行いません。

暮らし何でも相談

# ライフサポートセンターが かわります

これまで県内7ヵ所の地区労福協(労働者福祉協議会)で行ってきたライフサポート事業(暮らしの何でも相談事業)が

2021年10月1日からリニューアル

☎0258-86-8898

\*\*\*\*\*

新潟県ライフサポートセンターに  
生まれ変わり

一拠点化で相談体制を強化  
引き続きのご利用をお願いします。

新しい新潟県ライフサポートセンターは

☎0258-86-8898 (受付)祝日ものをぞく月~金 10:00~16:00

長岡市慶岩3-7-24です

事業再編団体 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会